

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 8月の定例講演会は夏季休暇に入ります。このため毎年過去の講演から時代に相応しいものを採録しています。過去の講演会とい

ってもやはり戦前、それも昭和初期から太平洋戦争に向かうまでの講演が特に歴史的な資料として貴重です。今年は2月にロシアによるウクライナへの軍事侵攻という80年前の欧州大戦を彷彿とさせる事件が起こりました。そこで昭和16年に石橋湛山が欧州大戦について講演した『百年戦争の予想』を掲載します。この講演は戦後、東洋経済新報社の『石橋湛山全集12』や岩波文庫の『石橋湛山評論集』にも掲載されて

いますが、関西や名古屋など三カ所の経済倶楽部での講演を基にしたものです。

9月の講師は東京大学大学院教授の高原明生氏、気象予報士の佐々木恭子氏、TBS「NEWS 23」キャスターの星浩氏、第一生命経済研究所首席エコノミストの永濱利廣氏です。

◆中部◆ 7月は大正大学教授の小峰隆夫氏に今後の日本経済についてお話頂きました。岸田政権は自民党内の右派から左派への実質的な政権交代だと指摘。また円安については労働力の安売りで、消費者主導の先進国型を目指すなら円高成長への転換が不可欠と話されました。

9月の講師は(一財)日本総合研究所会長の寺島実郎氏、朝日新聞政治部編集委員の曾我豪氏を予定しています。

(日暮良一)